

4 日本のさまざまな自然災害

○日本に多い地震と火山

日本列島：環太平洋造山帯に位置する

→(地震)が多く、(火山)の活動も活発

地震による災害：建物の倒壊や山崩れ、(液状化)の現象、(津波*)の発生など

例) 2011年の東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)など

※(液状化)とは、地震の振動によって水と砂を多く含む地面が液体のような現象のこと

(津波)とは、海底で起きた地震などで、海水が押し上げられて生じた高波のこと

火山による災害：噴火による火山灰や溶岩の噴出、火砕流の発生など

→一方で、火山は美しい景観も生み出す

○さまざまな気象災害

台風による災害：強風や(高潮)による被害、大雨による(洪水)や(土石流)などの発生

※(高潮)とは、台風や発達した低気圧によって海面が異常に上昇する現象のこと

(洪水)とは、大雨などによって川の水位や流量が増え、堤防の外側にあふれ出る現象のこと

(土石流)とは、大雨などによって泥や砂や岩などが水と混ざり、高速で流れ出る現象のこと

雨が十分に降らなかった時：水不足に悩まされることもある

東北地方の災害：(やませ***)の影響による(冷害*)

※(やませ)とは、主に6月から8月にかけて、東北地方を中心に吹く冷たく湿った北東の風のこと

(冷害)とは、稲が十分に育たずに収穫量が減ること

大雪による災害：交通網や建物への被害など